

特集

アンダー・ エマージェンシー 泌尿器・生殖器・会陰部の救急

一般の方々にとって、泌尿器や生殖器、肛門を含む会陰部に病気やケガを負ったら、恥ずかしく感じるものです。だからこそ、激痛でも我慢したり隠したりして、誰にも相談できずに、突然重症化した状態で救急外来に来る、あるいは救急搬送されてくるかもしれません。

一方で、救急医にとっても上記のような領域・分野は、いわゆる“マイナー領域”として扱われてしまいがちであると思われれます。しかし、泌尿器や生殖器、会陰部が、人間の生活とは切っても切り離せない、絶対的に重要な身体部位であることに、疑いの余地はありません。泌尿器を使わない日は（ほぼ）ないのです。この領域の救急症例数が少ないこともたしかでしょうが、適切な初期対応がなされなかったがためにその機能を一部でも失うようなことになれば、患者の人生は手足を失ったりするのとはまた違った形で、大きく捻じ曲がることになるでしょう。そのような意味で救急医には、泌尿器や生殖器、会陰部といった領域の重要な救急疾患・病態＝「アンダー・エマージェンシー」についてもしっかりと理解し、対応できることが求められると考えます。

そこで本特集では、この「アンダー・エマージェンシー」について一括りで取り上げて、その基礎的な疫学から診察・診断方法、救急治療のポイントとピットフォール、そして初期治療後の管理や専門科コンサルトまでを、専門家の先生方からご解説いただくこととしました。なお、「アンダー・エマージェンシー」という言葉は、本特集の新奇性を表す造語です。これまでに本誌でも泌尿器科や産婦人科といった括りでは特集を組んできましたが、これを泌尿器/生殖器/会陰部＝「アンダー・エマージェンシー」という必ずしも従来の専門科に縛られない括りで取り上げるからこそ、知識欲や好奇心を刺激し、実際の臨床にもよりつながりやすい特集になっていると確信しております。

一読するとマニアックに感じるかもしれませんが、だからこそ貴重な知識を本特集から吸収され、日々の臨床に役立つことを願っております。